(2006,11,233) 2013,01,233

1,総合仕様

環境条件　下記の条件として、構造及び動作に影響することはないものとします。
ただし、個別に各機器、装置で明記している条件についてはそれを有効とします。

項　目	条　件
設　置	屋　内
周囲温度	０℃～４０℃
周囲湿度	８５％ＲＨ以下（非結露状態）
雰囲気	可燃性ガス、腐食性ガスがない。著しい振動がない。

構　造　（１）外観・寸法　別紙外観図のとおりとします。
（２）構　造
（ａ）操作・制御に必要な機器及び部品は、操作・点検が容易にできる構造・配置とします。
（ｂ）保守が容易にできる構造とし、通常の使用事態で充電部が露出しない構造とします。

試験検査　工場出荷時には、下記項目の検査を実施します。
（ａ）外観構造検査
（ｂ）動作・機能試験
（ｃ）絶縁抵抗試験
（ｄ）耐電圧試験

2,システム概要

システムの中心的な役割を受け持つ制御装置と非常用照明器具との組み合わせで、
非常用照明器具の蓄電池の寿命およびランプや点灯ユニット回路の異常診断をおこないます。
制御装置と非常用照明器具は、２線伝送信号線で接続され、
あらかじめ設定されたスケジュールにしたがって異常診断をおこないます。

3,システム機能

（１）自動点検監視機能

常時監視機能	非常用照明器具に通電中は、常に蓄電池の充電状態を監視します。 （１）ランプ不点監視（ミニハロゲン灯器具のみ） 不点などの異常状態を監視します。 （２）電池異常監視 充電電流の有無により電池の接続を監視します。 （３）器具異常監視 点灯ユニットの異常を監視します。 （４）通信異常監視 通信線断線などの通信状態を監視します。
機能点検機能 （1～3ヶ月で設定可能）	数ヶ月に１回程度、短時間非常点灯をおこない、 電池の寿命、非常点灯回路の異常を監視します。 （１）電池点検 １分間の非常点灯をおこない、電池電圧から寿命を監視します。 （２）点灯ユニット点検 非常時の点灯ユニットの異常の有無を確認します。 （３）ランプ不点監視（蛍光灯器具のみ） 不点などの異常状態を監視します。
定期点検機能 （3～12ヶ月で設定可能）	６ヶ月に１回程度、定格時間（一般型：３０分、長時間型：６０分）の 電池放電による電池容量の確認をおこないます。 （１）電池点検 ３０分間または６０分間の法定時間非常点灯をおこない、 電池電圧から寿命を監視します。 （２）点灯ユニット点検 非常時の点灯ユニットの異常の有無を確認します。

（２）制御機能
①スケジュール点検
設定された周期により順番に機能点検および定期点検をおこないます。
②自動火災設備連動機能
自動火災設備より火災信号を受信すると点検中の全端末を点検解除します。
③異常時接点出力機能
非常用照明器具にランプ割れなどの異常が発生した場合に接点を短絡します（無電圧ａ接点出力）。

承認 APPROVED BY	担当 CHARGED BY	名　称 TITLE
高橋	森本	非常灯自動点検システム仕様書（１／２）
		形　名 MODEL NO. FHDM-1201
TOSHIBA 東芝ライテック株式会社 TOSHIBA LIGHTING & TECHNOLOGY CORP.		図面番号 DRAWING NO. AC2006-00076-03
		第三角法 3RD ANGLE PROJECTION / 尺度 SCALE —— / 単位 UNITS mm

日本国内専用（Use only in Japan）

（３）非常用照明器具接続数

自動点検機能付き非常用照明器具	最大１２８台

（４）上位監視機能

① 自動点検制御装置に専用のパソコンを接続することで、
最大１２８件の履歴データが確認できます。
専用一括監視パソコンは自動点検制御装置を５面（インデントで１０面）まで一括監視することができます。
※専用パソコンと制御装置間は専用ＬＡＮとなります。

② 自動点検Ｗｅｂサーバに自動点検制御装置を接続することでクライアントＰＣにて制御装置の点検結果を確認できます。
自動点検Ｗｅｂサーバには最大１６台の自動点検制御装置が接続でき、クライアントＰＣは最大４台が接続できます。

（５）非常用照明器具アドレス設定について

① ミニハロゲン灯器具は専用のリモコンアドレス送信器（ＦＲＣ－１８１３Ｔ ＳＥＴ）にてアドレスを設定します。
※アドレス設定は専用リモコン送信器が必要となります。

② 蛍光灯器具は器具内部のロータリースイッチにてアドレスを設定します。

（６）停電補償について

制御装置内のバックアップ電池により、内部記憶データを保持します。
※バックアップ電池が正常な場合（電池は１年を目処に交換してください）

（７）伝送仕様

① 伝送方式
２線式ランダム伝送直流パルス方式、無極性（±２４Ｖ）

② 伝送スピード
約２０ｍｓｅｃ／端末（最大１０Ｋｂｐｓ）

③ 信号用電線径とライン最遠長

電線種類	ライン最遠長 制御装置と非常用照明器具との最長距離
Ø1.2 ＣＰＥＶ－Ｓ	５００ｍ

総ライン長は、ライン最遠長の３倍です。

④ 増幅器について
イ．増幅器は伝送信号上に直列に最大５台まで接続できます。
ロ．増幅器１台接続することによりライン最遠長５００ｍ、総ライン長１５００ｍまで延ばすことができます。
ハ．下記の場合増幅器が必要です。
・ライン最遠長が５００ｍを越える場合、または総ライン長が１５００ｍを越える場合はライン最遠長が５００ｍ以下、及び総ライン長が１５００ｍ以下となるように途中に増幅器が必要です。
・ライン最遠長が５００ｍ以下、総ライン長が１５００ｍ以下の場合は増幅器は必要ありません。

備考：増幅器を直列に５台使用した場合のライン長は次のとおりです。
・ライン最遠長：制御装置から誘導灯間での最長距離…３０００ｍ
・総ライン長 ：全通信線の距離 …９０００ｍ

4.保 証

納入機器引渡し後１ヶ年以内に設計または材料の不良及び製作の不完全により不具合を生じた場合は、当社において責任を持って修理・改善をいたします。

承認 APPROVED BY	担当 CHARGED BY	名 称 TITLE
高橋	森本	非常灯自動点検システム仕様書（2／2）
		形 名 MODEL NO. FHDM－1201
TOSHIBA 東芝ライテック株式会社 TOSHIBA LIGHTING & TECHNOLOGY CORP.		図面番号 DRAWING NO. AC2006-00076-03
		第三角法 3RD ANGLE PROJECTION / 尺度 SCALE —— / 単位 UNITS mm